

個別医療機関ごとの具体的な対応方針 に係る調査結果について

～ 2025年に担う役割と機能別病床～

国から求められている議題と対応について

「地域医療構想の進め方について」（平成30年2月7日医政地発0207第1号）抜粋

地域医療構想の達成に向けて、「個別の病院名や転換する病床数等の具体的な対応方針の速やかな策定に向けて、2年間程度で集中的な検討を促進する」とこととされていることを踏まえ、**都道府県においては、毎年度この具体的な対応方針をとりまとめること。**

この具体的な対応方針のとりまとめには、地域医療構想調整会議において、平成37(2025)年における役割・医療機能ごとの病床数について**合意を得た**全ての医療機関の

- ① 平成37(2025)年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割
- ② 平成37(2025)年に持つべき医療機能ごとの病床数

を含むものとする。

なお、**平成30年度以降の地域医療介護総合確保基金の配分に当たっては、各都道府県における具体的な対応方針のとりまとめの進捗状況についても考慮することとする。**

御協力いただいた調査内容

個別医療機関ごとの 具体的な対応方針に関すること

- 2025年を見据えた役割(5疾病5事業及び在宅医療等)
- 2025年における病床機能（予定）
- 2025年に向けた施設設備に当たる補助金の活用予定
- 過剰な病床機能への転換理由等(該当医療機関のみ)

病床がすべて稼働して いない病棟に関すること

- 稼働していない理由
- 非稼働病棟の今後の運用見通しに関する計画

その他（会議での報告なし）

- 地域医療に係る課題や地域で検討したい課題

本調査の位置づけについて

- 地域医療構想達成に向けて過剰とされている病床機能への転換や増床が、直ちに否とされるものではない。
- あくまで現時点で考えられる役割・機能であり、2025年に向けて地域の実情に応じて随時見直されることも想定している。



地域において協議し合いながら合意を得ていくことが重要

本会議において、取りまとめた調査結果を資料等により提示し協議し合ったことで、地域医療構想調整会議にて、

「2025年における役割・医療機能ごとの病床数について合意を得た」

ものとして国に報告し、求められている議題への対応とする。

平成30年度以降の地域医療介護総合確保基金の配分に当たり、各都道府県における具体的対応方針のとりまとめの進捗状況 についても国から考慮される。

調査結果概要①

～ 2025年に担う役割と機能別病床～

- 県内で調査対象とした427医療機関（一般病床又は療養病床を有する病院・診療所）のうち、416箇所から回答を得た（回答率97.4%）。
- 本圏域の回答率は96.3%であった。
- これまで海匝地区では回復期リハビリテーション病棟はなかったが、今後、銚子・旭市内でそれぞれ設置が検討されている。
- また、介護保険施設等への移行を検討する医療機関が3箇所148床となっている。

【集計結果一覧】 ※下表「2017」欄はH29年度病床機能報告の結果、「2018」及び「2025」欄は本調査結果の集計数を計上している（廃止・休業を除く）

	調査依頼 医療機関数			回答率 (%)						高度急性期				急性期				回復期				慢性期				計		休棟等		移行 予定	
				病院		有床診		2018		2025		2018		2025		2018		2025		2018		2025		2018		2025		2018	2025	2025	
	病院	有床診	有床診	病院	有床診	病院	有床診	病院	有床診	病院	有床診	病院	有床診	病院	有床診	病院	有床診	病院	有床診	病院	有床診	病院	有床診	病院	有床診	病院	有床診	病院	有床診		
千葉	76	41	35	93.4	90.2	97.1	1,073	1,076	3,974	3,944	978	1,098	1,622	1,637	7,647	7,755	197	91	100												
東葛南部	91	51	40	98.9	100	97.5	1,796	1,844	5,588	5,614	1,739	1,984	2,127	1,827	11,250	11,269	290	59	360												
東葛北部	78	51	27	100	100	100	2,008	2,096	4,773	4,881	1,135	1,330	1,904	2,030	9,820	10,337	48	45	0												
印旛	47	27	20	93.6	96.3	90.0	1,168	1,150	2,313	2,415	547	484	1,445	1,501	5,473	5,550	334	9	0												
香取海匝	27	18	9	96.3	94.4	100	64	64	1,698	1,627	169	241	822	662	2,753	2,594	148	80	148												
山武長生夷隅	36	22	14	100	100	100	20	20	1,534	1,622	412	432	1,293	1,240	3,259	3,314	197	70	48												
安房	25	14	11	100	100	100	152	152	1,198	1,133	99	176	717	647	2,166	2,108	46	25	60												
君津	28	18	10	96.4	94.4	100	492	492	981	1,002	191	191	847	826	2,511	2,511	2	0	0												
市原	19	11	8	100	100	100	100	100	1,404	1,434	391	357	216	216	2,111	2,107	64	61	0												
計	427	253	174	97.4	97.2	97.7	6,873	6,994	23,463	23,672	5,661	6,293	10,993	10,586	46,990	47,545	1,326	440	716												

「2018」欄に含まれない病床数(本調査未回答等)：千葉380 東葛南部39 印旛240 香取海匝233 安房9 君津65

「2025」欄に含まれない病床数(本調査未回答等+未開設医療機関)：千葉771 東葛南部720 東葛北部617 印旛1,062 香取海匝233 山武長生夷隅19 安房28 君津67

調査結果概要②

～2025年における病床機能転換等予定～

○ 過剰とされている病床への増床を予定している医療機関は、県内で48（病院39・診療所9）箇所だった。

- 香取海匝地域は、2医療機関から、過剰とされる機能（急性期、慢性期）の増床について報告があった。ただし、1医療機関については、手続き上の都合による数字上の増加であり、機能変更ではなかった。
- また、急性期を増床する1医療機関は、患者の受入れ人数を考慮して、非稼働病棟を再稼働する計画であった。

調査結果概要③

～病床が全て稼働していない病棟について～

○ 報告の時点で病床が全て稼働していない病棟がある医療機関は、県内で65（病院40・診療所25）箇所だった。

- 香取海匝地域では、6箇所（病院5・診療所1）の医療機関において病床が全て稼働していない病棟が8病棟あると報告された。
- 8病棟の内、3病棟が再稼働予定、2病棟は未定、3病棟は廃止の予定で報告された。
- なお再稼働する3病棟のうち、2病棟は急性期一般入院基本料の病棟として、1病棟は回復期リハビリテーション病棟として稼働させる方針となっている。